

あいコープ放射能自主測定ニュース

No. 54 2012年12月1回

生産者の取り組み

—放射能対策をしています—

ミルクファーム蔵王

毎月、原乳の放射能検査を実施、
1 Bq/kg 以下を確認しています。

ミルクファーム蔵王は、原発事故直後から消費者に対する安全安心を第一に考え、牛乳への汚染防止に全力で取り組んできました。なによりもまず実態を明らかにすべく、原乳、使用水、自家生産の餌である牧草、飼料用トウモロコシ(デントコーン)、そして牧草地の土壌などを外部検査機関に依頼して測定検査に取り組んできました。

2012年度も月2回の原乳検査を継続し、検査結果は自らのホームページ(<http://www.milkfarmzao-co.jp/>)で公開しています。これまでの検査結果は、検出限界値以下(1Bq未満)でした。



最新の生産者 自主検査結果

測定日	分類	商品名	放射性 Cs134	放射性 Cs137	測定対象	生産者	所在県	測定 方法
2012/11/6	加工品	パスちゃん牛乳 パスちゃんプレーンヨーグルト	<0.7	<1.0	原料(原乳)	ミルクファーム蔵王	宮城	Ge

酪農家は牧草地を30～40cmの深さまで天地返しをして表土を深部に移す除染を行いました。小峰牧場では昨年天地返しを実施し、放射性セシウムが牧草に移行しないことを確かめました。牧草生産がまだできないため、輸入した乾燥牧草を与えています。

これからも「ベクレル0」を目指した取り組みを続けていきます。



生産者 小峰 誠さん

